

北海道伊達市 令和元年度決算に基づく健全化判断比率等の状況 (令和2年度公表値)				健全化判断比率一覧		資金不足比率一覧			
実質赤字比率				実質赤字比率	-%	水道事業会計		-	
区 分				連結実質赤字比率	-%	簡易水道事業会計		-	
決算額				実質公債費比率	5.6%	公共下水道事業会計		-	
繰上充用額①				将来負担比率	-%				
支払繰延額②				実質公債費比率					
事業繰越額③				区 分					
標準財政規模④				H29決算額		H30決算額		R1決算額	
実質赤字比率((①+②+③)/④)				-					
連結実質赤字比率				公債費充当一般財源等額(繰上償還額、公営企業債償還額及び満期一括地方債の元金にかかるものを除く。)					
区 分				決算額		(参考)分母比		ア	
実質収支				257,492		2.4%		イ	
一般会計等				108,545		1.0%		ウ	
一般会計				108,545		1.0%		エ	
霊園特別会計				0		0.0%		オ	
その他特別会計				148,947		1.4%		カ	
国民健康保険特別会計				80,764		0.8%		キ	
介護保険特別会計				54,413		0.5%		ク	
後期高齢者医療特別会計				13,770		0.1%		ケ	
老人保健特別会計				0		0.0%		コ	
資金の不足額又は資金の余剰額				1,272,732		11.8%		サ	
法適用事業				1,272,732		11.8%		シ	
水道事業会計				1,256,071		11.7%		ス	
簡易水道事業会計				0		0.0%		単年度実質公債費比率(コ/ス×100)	
公共下水道事業会計				16,661		0.2%		7.2%	
連結実質赤字額((1)~(9)の計)				0		1,530,224		5.1%	
標準財政規模				10,741,979		(参考)黒字額		4.8%	
連結実質赤字比率(A/B×100)				-		14.24%		実質公債費比率(3ヶ年平均)	
※ 連結実質赤字額は、赤字の場合は正数、黒字の場合は0と表示(参考)黒字率									
資金不足比率				将来負担比率					
会計名				資金不足額(イ)		事業の規模(ロ)		区 分	
水道事業会計				0		559,942		決算額(千円)	
簡易水道事業会計				0		39,637		令和元年度末一般会計等の地方債現在高	
公共下水道事業会計				0		753,145		債務負担行為に基づく支出予定額	
								a	
								b	
								c	
								d	
								e	
								f	
								g	
								h	
								i	
								j	
								k	
								l	
								m	
								n	
								o	
								p	
								q	
								将来負担比率(l/q×100)	
								-	
※ この表における金額にかかるものの単位はすべて千円である。									
※ 標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額(令和元年度は423,240)を含む。									
※ 伊達市における各比率の基準値は次のとおりである。									
(α = 早期健全化基準、β = 財政再生基準、γ = 経営健全化基準)									
				α		β		γ	
実質赤字比率				13.22%		20.00%		-	
連結実質赤字比率				18.22%		30.00%		-	
実質公債費比率				25.0%		35.0%		-	
将来負担比率				350.0%		-		-	
資金不足比率				-		-		20.0%	
考									